

Library

らいぶらりい

図書館からのお知らせ



マスコットキャラクター
「TO-MAN」と「RAI-CHAN」

当麻町立図書館(☎84-2566)

ホームページ <http://lib.net-bibai.co.jp/tohma/>

●休館日 毎週月曜日/年末年始/祝祭日(11/3を除く)
特別整理期間

●開館時間 9時30分～17時15分(木曜日は11時～19時)

令和3年当麻町立図書館の人気図書

今回は当麻町立図書館年間貸し出し回数ベスト10の図書を紹介します。
(令和3年1月6日～12月30日の間で貸し出し回数の多い順)

順位	タイトル	著者名
第1位	白鳥とコウモリ	東野 圭吾
第2位	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東野 圭吾
第3位	気がつけば、終着駅	佐藤 愛子
第3位	クスノキの番人	東野 圭吾
第3位	心淋し川	西條 奈加
第3位	押し、燃ゆ	宇佐見 りん
第3位	お探し物は図書室まで	青山 美智子
第3位	52ヘルツのクジラたち	町田 そのこ
第3位	その扉をたたく音	瀬尾 まいこ
第3位	Go To マリコ	林 真理子

令和3年は図書館休館もあり、開館日が短い中でも、東野圭吾さんの作品『白鳥とコウモリ』、『ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人』が1・2位に輝き、また令和2年に続き『クスノキの番人』もランクインするなど相変わらずの人気を誇りました。

また、直木賞受賞作『心淋し川』や芥川賞受賞作『押し、燃ゆ』といった話題作も大いに人気を博しました。本屋大賞受賞作『52ヘルツのクジラたち』、本屋大賞2位『お探し物は図書室まで』もベストテン入りし、本屋大賞は今や直木賞・芥川賞に匹敵する影響力があると感じさせられました。一方でベテラン作家によるエッセイ『気がつけば、終着駅』、『Go To マリコ』もランクインしています。

今年は常連である今野敏さんの作品がベスト10入りしていませんでしたが、ベスト100までに多数作品が入っています。

現在、館内では特設コーナーを設け、ベスト100の人気図書を展示していますので、どうぞご利用ください。

愚かな薔薇

恩田 陸



夏が近づく季節、母方の故郷である磐座で行われる2カ月に及ぶ長期キャンプに参加することになった奈智。そのキャンプとは「虚ろ舟乗り」の適性を見極めるために行われるというが…。14年もの連載を経て紡いだ美しくもおぞましい吸血鬼SF。

北海道縦断徒歩の旅日記

長坂 清臣



スマホやデジカメは持たず、手帳とシャープペンシルをたよりにひとり旅。日本最北端の宗谷岬から北海道最南端の白神岬を経て、最後は松前町まで巡った徒歩の旅を、自身のイラストと軽妙な文章で綴る絵日記。

今を生きるあなたへ

瀬戸内 寂聴



「この世に変わらないものなどない。苦しみや悲しみもいつかは変化する」2021年11月に百歳の誕生日を迎える前に旅立った寂聴さんが、世を去る3カ月前に京都は寂庵にて語った、人生の真理。

新刊書

一九六一東京ハウス	真梨 幸子
1ミリの優しさ	IKKO
黄金旅程	馳 星周
おとぎカンパニー モンスター編	田丸 雅智
偽装同盟	佐々木 譲
きりぎり舞いのさようなら	諸田 玲子
黒白の一族	明野 照葉
警官の道	アンソロジー
山亭ミアキス	古内 一絵
四十過ぎたら出世が仕事	本城 雅人
絞め殺しの樹	河崎 秋子
女性失格	小手鞠 るい
生を祝う	李 琴峰
世界の美しさを思い知れ	額賀 澤
その花の名を知らず	長野 まゆみ
血の歌	なかにし 礼
仁王の本願	赤神 諒
人形姫	山本 幸久
能面鬼	五十嵐 貴久
ヒトの壁	養老 孟司
人は聞き方が9割	永松 茂久
人は話し方が9割	永松 茂久
ひとりでカラカサしてゆく	江國 香織
真夜中のマリオネット	知念 実希人
マンモスの抜け殻	相場 英雄
ミス・パーフェクトが行く!	横関 大
ミトンとぶぶん	吉本 ばなな
皆のあらばしり	乗代 雄介
滅私	羽田 圭介
遺言歌	なかにし 礼

新刊児童図書

かいけつゾロリきょうふのダンジョン	原 ゆたか
サクラの川とミライの道	稲葉 なおと
サチコさんのドレス	桜木 紫乃
にじいろフェアリーしずくちゃん	5 友永 コリエ
博物館の少女	富安 陽子
ばけもの	柳田 国男
プーさんの戦争	マティック
ぼくんちのねこのはなし	いとう みく
ようかい村のようかいばあちゃん	最上 一平
ランディーときいろのトラック	そら

ピックアップ! 今月の3冊

愚かな薔薇

恩田 陸



夏が近づく季節、母方の故郷である磐座で行われる2カ月に及ぶ長期キャンプに参加することになった奈智。そのキャンプとは「虚ろ舟乗り」の適性を見極めるために行われるというが…。14年もの連載を経て紡いだ美しくもおぞましい吸血鬼SF。

北海道縦断徒歩の旅日記

長坂 清臣



スマホやデジカメは持たず、手帳とシャープペンシルをたよりにひとり旅。日本最北端の宗谷岬から北海道最南端の白神岬を経て、最後は松前町まで巡った徒歩の旅を、自身のイラストと軽妙な文章で綴る絵日記。

今を生きるあなたへ

瀬戸内 寂聴



「この世に変わらないものなどない。苦しみや悲しみもいつかは変化する」2021年11月に百歳の誕生日を迎える前に旅立った寂聴さんが、世を去る3カ月前に京都は寂庵にて語った、人生の真理。